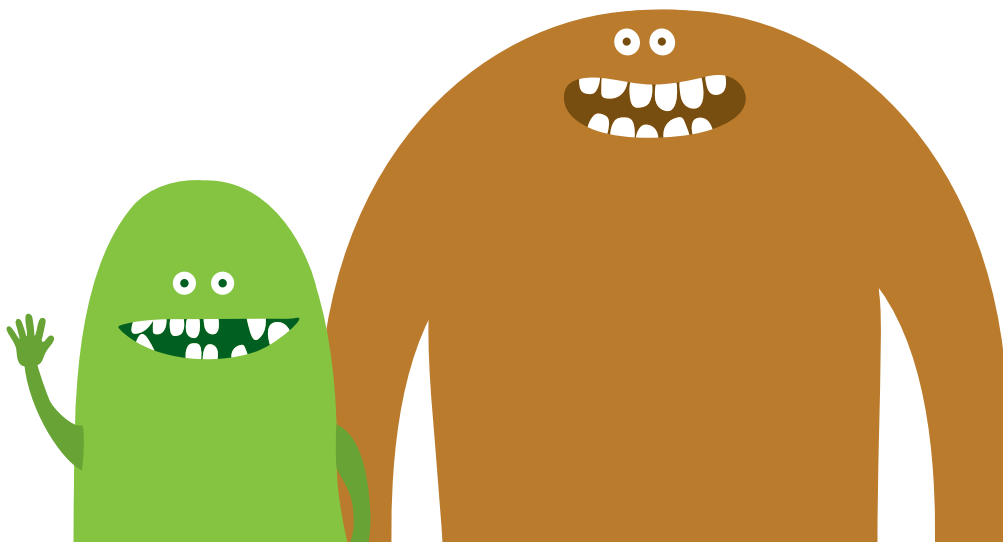


Nabtesco

第19期 中間
ナブテスコ通信

2021.1.1—2021.6.30



証券コード：6268

「未来の"欲しい"に挑戦し続ける イノベーションリーダー」を目指して

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになられた方々やそのご家族の皆さまに
謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方々にお見舞い申し上げます。
また、医療従事者の皆さまをはじめ、社会機能の維持にご尽力いただいている
すべての皆さまに心より感謝申し上げます。

代表取締役社長 **寺本 克弘**

コロナ禍によるマイナス影響を受けながらも、 精密減速機、油圧機器は好調に推移しました

当社グループの2021年度上半期は、新型コロナウイルスによる世界的な移動制限の影響が継続し、航空機器、鉄道車両用機器では需要が減少しました。一方、産業用ロボット向け精密減速機は、自動車向けを中心とした設備投資の拡大を背景に需要が増加しました。また、油圧機器は中国市場における建設機械向けが堅調に推移しました。セグメント別の概況は、以下のとおりです。

コンポーネントソリューション事業では、精密減速機が世界的な自動車産業での設備投資の高まりから、産業用ロボットの需要が旺盛であったことに加え、一般産業向けも需要が拡大しました。建設機械向け油圧機器は、中国での第1四半期の高い需要に加え、欧米・東南アジア市場での回復が見られました。

トランスポートソリューション事業では、鉄道車両用機器が新型コロナウイルスの影響により、海外向け案件の入札遅れや、国内の新車案件およびMRO(Maintenance, Repair, Overhaul)の需要が低迷しました。航空機器は、民間航空機の大幅な減産の影響に加え、防衛装備品調達計画の谷間により需要が低迷しました。一方、商用車用機器において、国内における需要が回復するとともに、船用機器は、国内外においてMROが堅調に推移しました。

アクセシビリティソリューション事業では、プラットフォームドアにおいて国内鉄道事業者の投資先送りの影響を受けたものの、国内外の建物用ドア需要が堅調に推移しました。

その他においては、包装機が外食産業の不振により国内需要が伸び悩む一方、中国での需要増加がありました。

以上により、当上半期の売上高は1,457億8百万円(前年同期比6.8%増)、営業利益は146億1千3百万円(同6.9%増)となりました。また、株式会社ハーモニック・ドライブ・シス

テムズ(以下、ハーモニック社という)の持分法適用除外に伴う評価益等を計上したことにより、親会社の所有者に帰属する四半期利益は680億5千6百万円(前年同期比624.6%増)となりました。

2030年に向けて「経営マテリアリティ」を特定 新規事業の創出への取り組みを進めます

当社は、新しい長期ビジョンとして、「未来の"欲しい"に挑戦し続けるイノベーションリーダー」を掲げました。また、この新長期ビジョンの策定に伴い、従来のCSRマテリアリティ(重要なCSR課題)を見直し、新たな「経営マテリアリティ」を特定しました。当社では、この経営マテリアリティを「長期ビジョンを実現するための重要課題」と定義しています。経営マテリアリティは「財務パフォーマンス向上への取り組み」「経営基盤強化への取り組み」「長期ビジョン実現への固有の取り組み」という3つの柱から成り立っており、財務・非財務両面での取り組みを進めることで、経済価値・社会価値の創造を長期的な視点で両立させていきます。これにより、「利益ある成長」を継続しながらステークホルダーの皆さまへの価値を持続的に創造していきます。

また、長期ビジョンの実現に向け、新規事業創出活動をこれまで以上に強化・加速するため、2021年7月1日付で「CVC(コーポレート・ベンチャーキャピタル)推進室」を新たに設けました。2018年にスイス・チューリッヒに設立した「Nabtesco Technology Ventures AG」と密接な連携を図り、迅速な意思決定によりスタートアップ企業等との協業および投資を加速させることで、ナブテスコグループの新規事業創出の実現を積極的に推進していきます。

2021年度は、過去最高の営業利益達成を目指します

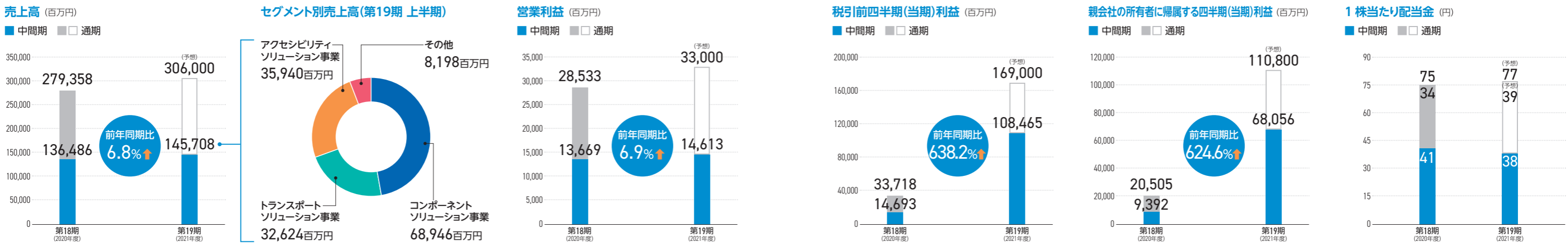
2021年度下半期においては、精密減速機において産業用ロボットの高い需要が継続することに加え、一般産業向けも好調を維持すること、また建設機械向け油圧機器において、欧米・東南アジア市場での需要が回復すること等により、売上高および営業利益は堅調に推移すると見込んでいます。一方、親会社の所有者に帰属する当期利益については、上半期におけるハーモニック社の持分法適用除外に伴う法人所得税費用の増加の影響を受ける見込みです。以上を受け、当社は7月30日に、通期の連結業績予想を以下のとおり修正し、公表しました。

| | |
|------------------|---------|
| 売上高 | 3,060億円 |
| 営業利益 | 330億円 |
| 親会社の所有者に帰属する当期利益 | 1,108億円 |

2021年度の中間配当は、当初の計画どおり、1株当たり38円とさせていただきます。期末配当については39円を予定しており、年間配当額は前期比2円増配の77円を計画しています。また、当上半期には自己株式の取得を実施し、7月15日付で4,069,700株を消却しました。今後も引き続き、株主還元を努めてまいります。

当社は、持続的な価値創造を通じて社会課題の解決に貢献し、株主の皆さまをはじめ、お客さま、サプライヤー、地域社会、従業員とその家族を含め、すべてのステークホルダーの幸福を実現する企業を目指します。そして環境変化を克服し、利益ある成長を実現していくことで、魅力ある企業として発展し続けてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも長期的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。



株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月下旬

基準日 定時株主総会・期末配当
毎年12月31日
中間配当
毎年6月30日

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
0120-782-031(フリーダイヤル)
受付時間：平日9:00～17:00

■ 住所変更、単元未満株式の買取・買増などのお申出先について
株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。なお、特別口座で管理されている株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■ お受取りになっていない配当金について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■ 「配当金計算書」について
配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告の際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主さまにつきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社で行われます。確定申告の際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認ください。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主さまにつきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」をお送りしております。確定申告をされる株主さまは大切に保管ください。

コーポレートデータ (2021年6月30日現在)

会社概要

会社名 ナブテスコ株式会社
設立 2003年9月29日
資本金 100億円

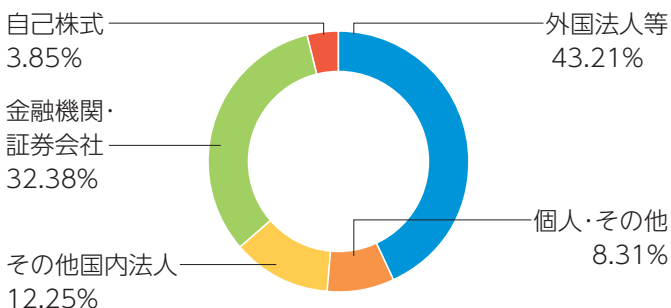
株式の状況

発行済株式の総数 125,133,799株

※2021年7月15日に自己株式の消却を行っており、同日付で発行済株式総数は121,064,099株となりました

株主数 18,183名

所有者別株式数比率



役員

| | |
|---------|--------|
| 代表取締役社長 | 寺本 克弘 |
| 代表取締役 | 箱田 大典 |
| 取締役 | 直樹 茂 |
| 取締役 | 北村 明義 |
| 取締役 | 波部 敦 |
| 取締役 | 木村 和正 |
| 社外取締役 | 内田 憲男 |
| 社外取締役 | 飯塚 まり |
| 社外取締役 | 水越 尚子 |
| 社外取締役 | 日高 直輝 |
| 常勤監査役 | 菊池 賢一 |
| 常勤監査役 | 清水 功 |
| 社外監査役 | 佐々木 善三 |
| 社外監査役 | 長坂 武見 |
| 社外監査役 | 平井 鉄郎 |

詳細はコチラ

■ ウェブサイトのご案内



当社ウェブサイトでは、当社に関するさまざまな情報を発信しています。

<https://www.nabtesco.com> ➔



■ 公式SNSのご紹介



YouTube

<https://www.youtube.com/user/NabtescoPromotion> ➔

TVCMや会社案内映像などをご覧ください。



Facebook

<https://www.facebook.com/Nabtesco.corp/> ➔

最新の情報、技術紹介、CSR活動など幅広くお届けします。



Twitter

https://twitter.com/Nabtesco_corp ➔

最新の情報、技術紹介、CSR活動など幅広くお届けします。



ナブテスコ 株式会社

〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目7番9号

UD
FONT

